



- 1 階段前面に開口部を設けることで、道路側からも庭が見える特徴的なファサードにしました。
- 2 南側の庭に面した14帖のスタジオ。明るく開放的な階段スペースにより空間を分節しています。
- 3 南側の庭に各室を配置。スタジオとダイニングは庭と一体的に利用することを想定しています。
- 4 玄関と連続したリビング。庭とは距離をとり、開口部を限定的にすることで、落ち着いた空間になっています。
- 5 レッスンに来る人も利用するラウンジにもなるため、行き止まり感がないキッチンレイアウトとなっています。

R+ design

住宅地に建つバレエスタジオ併設の住宅。スタジオや駐車スペースなどの条件から、建物規模を35坪程度にする必要があり、西側接道、南側は日照と開放性が高いという敷地条件を活かした計画としました。住居とそれ以外の機能が併設される建物となるため、建物の中心に開放的な階段を計画することで、複雑な動線やゾーニングを解決しました。階段によりスタジオとそれ以外を緩やかに分節し、立体的な外観とすることで、建物自体がサインとなるようにしました。



建築家プロフィール



コントモアキ
今 知亮

1981年
北海道生まれ

2006年
室蘭工業大学大学院工学研究科博士前期課程
建設システム工学専攻 修了
有限会社アーキテクチャー・ラボ

2016年
アーキテクチャー・ラボ KONオフィス 設立

2023年
一級建築士事務所 株式会社KONオフィス 設立

趣味 買い物

R+ study



狭い空間が好きなヒトにおすすめのヌック

最近、家づくりでヌックが欲しいというお声を聞きます。ヌックの語源はスコットランド語のイングル・ヌーク[Ingle neuk]、暖炉の側にある腰掛けを意味する言われています。建築用語では、1こぢんまりとした居心地のいい場所 2室内の一角に特別につくられた小部屋 という意味を持ちます。最近の家づくりでは、家族の共有空間を大きく取り、その他は極力仕切らず、必要な個室を必要最低限で仕切るというプランが多くなってきています。そんな時にヌックが魅力を発揮します。家族の気配を感じながらも、ひとり時間を満喫できる、自分だけの「こもり空間」によって、広い場所より落ちつく空間になる、部屋で仕切らなくても個人のスペース確保ができる、デッドスペースを有効利用できるなど気兼ねな空間として人気を集めています。

人はなぜ狭い場所が落ちつくのでしょうか？ひとつには危険への警戒本能があります。自然の中で人が生きていた時代に、獣に見つかりにくく雨や日差しを避けるなどして「洞穴」に住んだ時代から引き継がれた本能かもしれません。もうひとつに、心理学の面で、人は何かに触れていると安心するという感覚があり、電車で端の席が人気があるという心理に近いかもしれません。また、人は皆、お母さんのお腹の中で守られて育ち生まれます。びったりとフィットする温もり空間は、絶対的な安心感に繋がるのです。そんな安心で落ちつく空間ヌック、大人から子供まで楽しめる空間でゆっくり過ごす時間を想像しながら家づくりを検討してみてください。

本写真画像は全国各地の R+house ネットワーク加盟工務店が施工した物件を撮影したものを同ネットワーク全体の広告宣伝のために使用しているものであり、当該物件が特定の工務店等の施工物件であることを保証するものではありません。

information イベントのお知らせ



賢い家づくりセミナー 家づくりの「新常識」

予約制

日時：4月20日（土）
11：00～14：00
（会場10：45）

会場：Garden cross cafe
軽食サービスあり

これから家づくりを始める方、すでに検討を始めている方の悩みや疑問にお答えいたします！人生で一番大きな買い物と言われるマイホームだからこそ、しっかりと疑問や不安を解決しませんか？



個性をカタチに、賢い家づくり

R+house 御殿場

〒412-0043 静岡県御殿場市新橋385



夢の創造をあなたと一緒に

岳南建設株式会社

https://www.rplus-gotemba.jp/

※お申込みお問い合わせはお電話
またはQRコードにて

0120-0550-72

WEBはこちら



Instagram



今回は、「相続登記の義務化」について

2024年（令和6年）4月より相続登記の義務化が開始されます。

まず、そもそも相続登記とは何か？と言いますと土地・建物・マンションなどの所有者が亡くなった際に、相続人の名義に変える手続きのことです。

これまでは相続登記の申請は義務ではありませんでしたが、義務化になった背景として、所有者が特定できない空き家や空き地が増えている「所有者不明土地問題」があります。

この問題解消として所有者が特定できるように相続登記が義務化されました。



◎相続登記の義務化で変わる点・押さえておく点

- ・相続登記の義務化は **2024年4月1日** から開始
- ・不動産を相続したことを知ったときから **3年以内** に登記しなければ、**10万円以下の過料**
- ・**過去の相続分も義務化の対象**

相続登記を行わないと「権利関係が複雑になる可能性がある」「不動産の売却や担保提供ができない」「不動産の差押や共有持分を売却されるリスク」と義務化に伴う罰則以外にも相続人にとっても大きなリスクが生じます。もし音信不通の相続人がいる場合や相続人間で遺産分割協議がまとまらない場合など相続登記義務を履行したくてもできない場合は「**相続人申告登記の申出**」の制度を利用ください。

相続登記を行うことは、所有者不明土地の増加を防止と不動産について自分の権利を守ることが出来ます。今回の義務化を受けて、相続登記を行わずに放置するリスクやデメリットは今後大きくなると思われます。相続登記について疑問や不安がある方はお近くの司法書士に相談してみてください。

外構工事のコツ

◎工事のタイミングは？

建物と外構、それぞれの業者の調整が必要なこともあり、基本的には建物が完成してから外構工事の着工となります。多くは建物の引渡し後から2カ月程度の間に行われますが、工事までの期間が長いとゆっくり外構を検討できる反面、その間、地面が土そのままの状態ですから雨の日はどうしても玄関周りが汚れてしまうデメリットもあります。

◎早期の打ち合わせと予算

建物に比べると外構予算の優先順位は低くなりがちですが、後からでは調整が難しいため、あらかじめ外構まで含めておくとう安心です。

また外構のプランを建物と並行して進めることで、外で使う立水栓や電源の場所など使い勝手や防犯性といった大切なポイントを考えておくことができます。また、どんな風に庭を活用したいか具体的にイメージして、お気に入りの画像をピックアップしておくとう伝わりやすくなります。

◎機能門柱

機能門柱には、表札・インターフォン・ポスト・宅配ボックスなど複数の機能がまとめて組み込まれています。デザインが豊富で建物に合わせてやすいスタイリッシュなものが多く、狭小地でも設置できます。

* R + cooking *

15cm型

スパイス入り バスク風チーズケーキ



《材料》

・クリームチーズ 250g ・グラニュー糖 100g ・卵M玉 3個
A / シナモンパウダー 5g ジンジャーパウダー 2.5g
カルダモンパウダー 1.5g 小麦粉 30g 生クリーム 150g

《作り方》

- ① クリームチーズ、卵は常温に戻しておく。型にオープンシートを敷く。
- ② 生クリーム以外の、Aの材料は粉ふるいをしておきます。
- ③ 常温に戻したクリームチーズをホイッパーで混ぜ、砂糖を加えて滑らかにするまで混ぜます。
- ④ 溶き卵を③に少しずつ加えてよく混ぜます。
- ⑤ ②にふるったAを入れ、生クリームを加えてザルでこします。
- ⑥ 220℃のオープンで20分焼きます。

一晩置いて出来上がりです。